

各局の自律改革について

各局における自律改革の取組<状況報告>(12月22日)

自律改革の取組状況

- 各局は9月から業務改善や事務の効率化を中心に自律改革を着実に推進
- 10月からは、**政策・施策・事業を中心に**、新たな観点での事業の見直し等、都が取り組んでいない分野の抽出と対応の検討、事業の効率性の向上（民間活力、ICTの活用）を主な視点とし、改めて自主点検・評価を実施
 - ⇒ 自主点検・評価の結果、「高度化・複雑化する都政課題解決に向けた多様な財源確保」、「ICT・IoTを活用した効率的な事業の推進」や「国、区市町村、地域社会や民間企業等との連携推進」など、新たに各局から**159項目**が報告
- 第2回本部会議で報告した**320項目**と合わせて、**計479項目**について、自律改革を推進

今後のスケジュール

12月～

・進捗状況を報告

1月以降

・各局自律改革を継続
・各局から取組状況を順次報告

29年度初め(予定)

・28年度の実績を報告

各局における自律改革の取組<状況報告>(12月22日)

9月から開始した主な自律改革の取組状況①

※一例

項目	取組内容	取組状況(12月1日時点)	今後の予定	局
審査期間の短縮化	<p>【NPO法人設立等に係る認証審査期間の短縮化】 認証審査期間を4か月から2か月程度に短縮</p> <p>※事務改善による短縮(2か月→1か月) ※法改正(平成29年4月1日)による縦覧期間短縮(2か月→1か月)</p>	<p>若手職員を中心とした現場PTを設置し、受け付けた申請書類等の処理期間の短縮化、審査会の開催頻度の見直しを検討</p>	<p>○平成29年2月審査期間短縮を実施(4か月から3か月へ)</p> <p>※法改正による縦覧期間短縮を待たず、事務改善による短縮を先行実施</p>	生活文化局
補助制度等を分かりやすく紹介	<p>【分かりやすい補助金一覧の作成】</p> <p>○補助制度をまとめた冊子を作成 ○HP上で分散化した補助金情報の集約化</p>	<p>○補助制度や支援策を紹介した「エコサポート2016」を作成 ○「個人・家庭向け」か「事業所向け」かがすぐ分かるように掲載。スマートフォンなどで詳しい情報を検索できるよう、事業ごとにQRコードを付記 ○補助制度等の情報を一覧にしたポータルサイトを構築</p>	<p>今後も、新たな補助制度の追加など適宜情報を更新し、内容を充実</p>	環境局

各局における自律改革の取組＜状況報告＞（12月22日）

9月から開始した主な自律改革の取組状況②

※一例

項目	取組内容	取組状況(12月1日時点)	今後の予定	局
東京 2020大 会会場 整備の 見える 化	【施設整備にかかる工事現場の公開】 ○見学スペースを整備し、セキュリティエリア外からの現場視察を実現 ○工事進捗状況を定点撮影し、HPで公開	現場状況写真のHPでの公開や現場見学対応を検討中 ※アクアティクスセンター、有明アリーナ、有明テニスの森、大井ホッケー場	アクアティクスセンターについては来年1月から現場状況写真をHPに掲載予定	財務局
	【施設整備にかかるスケジュール等の公開】 新規恒久7施設の工事スケジュールや進捗状況、設計概要、整備費を公開	7施設の工期スケジュール、設計概要、整備費をHPで公開 ※7施設（オリンピックアクアティクスセンター、海の森水上競技場、有明アリーナ、大井ホッケー競技場、有明テニスの森、カヌー・スラローム会場、アーチェリー会場）	○工事スケジュールは毎年度末に更新 ○設計概要、整備費は変更があれば随時更新	リッパ・パブリック準備局
補助金等の情報公開	【補助金等の支出状況の情報公開】 ○公金の支出状況を「見える化」するため、補助金等の支出状況、根拠規程等をホームページで公開	○補助金等の支出に関する公開の現状を確認 ○公開する情報、公開時期を検討 ○HPの公開イメージを構築	○平成29年1月公開予定	生活文化局

各局における自律改革の取組<状況報告>(12月22日)

10月から開始した主な自主点検・評価の実施状況①

※一例

項目	事業概要・現状	課題	今後の方向性	局
高度化・複雑化する都政課題解決に向けた財源確保	<p>【民間活力を活用した水辺の自然再生活動】 ○池水の富栄養化、湧水量の減少、水循環の停滞等の環境変化による、植物性プランクトン（アオコ）の増殖 ○池水の透明度低下による水生植物の生育不良による、池の自浄作用の低下 ○井の頭恩賜公園以外の公園では水質浄化に向けた効果的な方策が未実施</p>	<p>○池の自浄作用を取り戻すには、池本来の生態系の復活が必要 ○地域住民やボランティアと都が一体となり管理を行っていくことが必要</p>	<p>○道具などへの企業名の掲出や事業自体への協賛金など、事業に参画してもらおう仕組みを構築し、池水の水質改善の早期実現 ○井の頭恩賜公園で試行し、その実績を踏まえ、他の公園への導入を検討</p>	建設局
	<p>【インフラにおけるネーミングライツの導入】 インフラ施設の整備や維持管理に取り組んでいるが、少子高齢化などを背景に財源の確保が急務</p>	<p>○国庫支出金の内示率が年々低下するなど、財源確保が課題 ○多様な財源確保の検討が必要</p>	<p>導入可能な施設を選定の上、ネーミングライツ導入の可能性等を検討</p>	建設局

各局における自律改革の取組＜状況報告＞（12月22日）

10月から開始した主な自主点検・評価の実施状況②

※一例

項目	事業概要・現状	課題	今後の方向性	局
ICT・IoTを活用した効率的な事業の推進	<p>【ICTを活用した東京港の交通混雑解消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京港の取扱貨物量が増加傾向 ○コンテナターミナルの施設容量を超える貨物の取扱いにより、コンテナふ頭周辺で交通混雑が発生 	<p>東京港の抜本的な機能強化を図ることに加え、海上と陸上輸送の連携強化やICTなどの活用により、交通混雑の解消に向けた取組を推進していくことが必要</p>	<p>大井車両待機場においてETC等を活用し、待機時間や車両情報などの情報を計測・公表するなど、混雑状況の「見える化」の仕組みを導入、コンテナ物流の効率化を推進</p>	港湾局
	<p>【浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画規模を超える降雨に対して、ハード・ソフト両面から対策を検討・実施し、安全を確保 ○計測器、通信機能等を内蔵させたマンホール蓋を用いて下水道管内の水位などをリアルタイムに把握できる技術を開発 	<p>計測器、通信機能等を内蔵させたマンホール蓋の実用化（IoTの活用）に当たっては、システムの安定稼働に向けて、管内水位の測定結果の信頼性や通信の安定性等の検証が必要</p>	<p>システムの信頼性、安定性を実地で検証するとともに、実用化に向けた課題を整理</p>	下水道局

政策企画局

政策企画局における自律改革の取組<状況報告>

取組体制と進捗状況

<若手職員から幹部職員まで幅広い意見を集約し、具体的な取組内容を検討する体制を構築>

政策企画局改革本部 [局長・理事・部長] 10名

政策企画局課題検討プロジェクトチーム [課長] 10名

都民ファースト・情報公開検討プロジェクトチーム [主事・主任] 9名

ワイズ・スペンディング検討プロジェクトチーム [主事・主任] 13名

<局全体で改革気運を醸成しながら、取組を順次開始>

月	政策企画局改革本部	政策企画局課題検討 検討プロジェクトチーム	都民ファースト・情報公開 検討プロジェクトチーム	ワイズスペンディング 検討プロジェクトチーム
9月	21日 本部設置 ・取組内容の検討、全 体の進捗管理	21日 PT設置 ・局の課題等を踏まえた 取組を検討	21日 PT設置 ・都民対応、HP等の 見直しを検討	21日 PT設置 ・ペーパーレスや業務 改善等を検討
10月		20日 第1回PT開催	20日 第1回PT開催 28日 第2回PT開催	20日 第1回PT開催 28日 第2回PT開催
11月	2日 第1回会議開催 30日 第2回会議開催	局内アンケート実施 16日 第2回PT開催	4日 第3回PT開催	4日 第3回PT開催 11日 第4回PT開催
12月		局の課題検証等のテーマ について議論継続中	16日 第4回PT開催	16日 第5回PT開催

政策企画局における自律改革の取組<状況報告>

主な取組① 「政策形成過程の見える化」 「2020年に向けた実行プラン（仮称）」の策定における取組

「コンセプトと主要政策の方向性」の公表及び意見募集

[都民ファースト・情報公開]

- プランのポイントとなる事柄をできる限り分かりやすい表現で公表し、都民の皆様からご意見やアイデアを募集
- 都立高校の生徒が東京の将来について考える「出前授業」を実施

実施状況

- <実施期間> 平成28年11月11日-11月25日
- <提出方法> Eメール、FAX、郵送

（出前授業の実施）

- ・生徒の社会参画意欲を育むため、都立高校を東京都職員が訪問し、プランのコンセプトや主要政策の方向性を教材として、生徒が東京の将来について考える「出前授業」を実施
- ・出前授業に参加した生徒のうち290人から自主的に意見等の提出があった



集計結果

- <受付数> 個人485人、法人22社
- <意見数> 1,687件

（主な意見等）

- ・地震に強いまちづくりを進めてほしい
- ・安心して暮らせる社会にしてほしい
- ・子育て家庭、高齢者、障害者への支援を充実させてほしい
- ・満員電車の混雑を解消してほしい
- ・観光都市として、世界に東京の魅力を発信してほしい
- ・芸術文化をもっと振興してほしい
- ・東京2020大会を成功させてほしい

など

政策企画局における自律改革の取組<状況報告>

主な取組① 「政策形成過程の見える化」 「2020年に向けた実行プラン（仮称）」の策定における取組

「プラン策定会議」の開催及び会議資料の公開

- オール都庁で策定するため、「プラン策定会議」を開催



（知事、副知事、教育長及び各局長が出席）

[10月25日、10月28日、11月29日 計3回]

ホームページでの情報公開

<会議終了後>	<プラン公表後>
<ul style="list-style-type: none">・会議次第・プラン全体に係る資料・当日の議論のまとめ	<ul style="list-style-type: none">・主要政策に係る資料・議事概要等

若手職員の参画

- 「若手職員による東京の未来を考えるワークショップ」の実施

[11月16日、11月22日 計2回]

職員が自由な発想で「東京の理想の姿」「未来の生活像」について議論



⇒ 策定過程を見える化するとともに、策定した実行プランを幅広く周知し、今後の政策展開を分かりやすく伝えていく

政策企画局における自律改革の取組<状況報告>

主な取組② 「局の課題を検証」

都政運営全体における当局の役割を踏まえ、課題や機能向上を検討

<取組の目的・概要>

- 当局の役割を再検証し、課題を分析、解決に向けた取組を進めることで、都政運営への貢献度を高める

<これまでの取組状況>

- 政策企画局課題検討プロジェクトチームで議論開始
- 局内全職員に対し、局の課題等についてのアンケートを実施（回答152件）

⇒ 各職員が、自局の課題を見つめ直す機会に

<今後の議論の方向性>

- 政策立案機能の強化 [ボトムアップ型]
 - 日々変化、多様化する都民ニーズを的確に把握し、各局と連携して迅速に政策展開を促す機能を、より一層強化
 - 縦割り行政では拾い切れない新たな課題を政策に繋げる など
- 都の主要な政策におけるマネジメントサイクルの構築
 - マネジメントサイクルの見える化の検討 など

⇒ 今後も、民間企業や国、他自治体等の事例も参考にしつつ、局改革本部やPTを中心に局のあり方を議論し、具体的な取組を進めていく

政策企画局における自律改革の取組<状況報告>

主な取組③ 若手職員PTの取組

都民ファースト・情報公開検討PT

○局HPの見やすさ向上

(現状と課題)

- ・メニューの表現がわかりづらい
- ・各ページの内容が一目でわからない

(取組内容)

- ・PTでわかりづらい表現等改善点を検証し、順次ページ内の表記の修正・コンテンツの整理等を実施
- ⇒デザイン変更等利便性向上の取組を継続

○都民の声の対応ノウハウ共有と情報公開

(現状と課題)

- ・多様な質問が寄せられるため、回答に時間がかかる等、都民満足度の低下を招いていることがある

(取組内容)

- ・FAQ（よくある質問と回答）の作成、共有
- ⇒局内外で知見を共有し、対応力を強化
- ⇒問合せが多い事項をHPに掲載し、都民が知りたい情報へのアクセスを向上

ワイズスペンディング検討PT

○ペーパーレスの取組

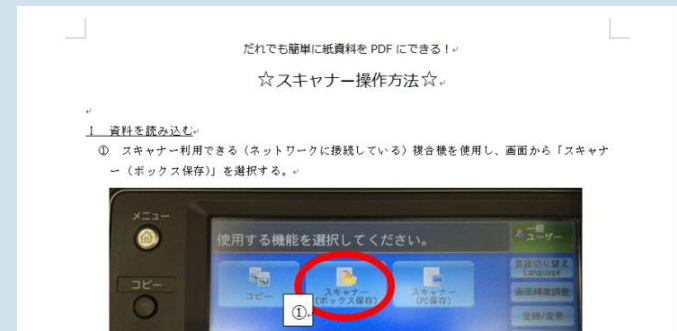
(現状と課題)

- ・紙の使用量が増加傾向
- 本年度上半期使用量5%増（前年比）

(取組内容)

- ・簡易マニュアルの作成
- スキヤナの使用方法、電子決裁の手順、両面印刷、割付け印刷の方法等について改めて周知

(参考)



- ・紙使用量の見える化と意識共有
- 月2回程度、各部の紙使用量を目標値との比較とともに局内周知
- [下半期5%減(前年比)]

政策企画局における自律改革の取組<状況報告>

主な取組④ 各部の取組

ライフワークバランスの実現

○「3^{える}運動」の実施

- ・ みんなで支える
- ・ 期日までに終える
- ・ 早くかえる

(現状と課題)

- ・ 業務が特定の担当に集中している
- ・ 超勤縮減に対する職員の意識づくりが必要

(取組方法)

始業時に担当内で朝会等を行い情報共有

- ・ 当日の退勤目標時間
- ・ 期限が迫っている等の重要案件の有無
- ・ 懸案事項 など

(効果)

- ・ チームで支え合う仕事の進め方の推進や負担の適正化
- ・ 帰りやすい雰囲気づくり



全庁的な取組

○報道発表に関する業務の効率化

(現状と課題)

- ・ 報道発表資料については、紙資料の配布により庁内関係部署へ情報共有を行っている

(取組方法)

- ・ 庁内ポータルサイトを活用し、報道発表資料の電子データによる情報共有を図る

(効果)

- ・ 報道発表資料作成に際し、庁内ポータルサイト内で類似プレスの検索・閲覧等を行うことによる資料作成の効率化・スキルアップ
- ・ 報道発表資料印刷部数の削減

青少年・治安対策本部

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

青少年・治安対策本部について

所掌事務

- 青少年対策
- 治安対策
- 交通安全対策

組織

本部長 — 総合対策部長

組織現員:89名

(外郭団体なし)

総務課
青少年課
治安対策課
安全・安心まちづくり課
交通安全課

<職種構成>

- ・事務職員
- ・警察関係職員
- ・入国管理局職員
- ・教育関係職員

**多様な分野・
職種から組織**

本部の役割

～誰もが安全安心を実感できる社会の実現に向けて～

- 関係機関との連携強化 → 関係機関との結び目の役割
- 新たな課題への迅速な対応 → 社会の実情、新たな事象に迅速かつ的確に対応
- 区市町村への支援 → 区市町村の現状を十分理解した上で、適切な支援

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

取組体制

○三層のPTによる自律改革の推進

全体方針
の決定

本部PT

(本部長及び部長級による議論)

提案

実務上の視
点から議論

各課PT

(各課にお
ける主体的
議論)

若手を中心に
自由に議論

**多職種
PT**

(各課横断し
た多様な職
種の職員に
よる議論)

検討経過

日付	内容
9月1日	本部PT① 自律改革に係る本部PT立ち上げ
9月6日	各課PTによる議論開始
9月8日	多職種PTによる議論開始
9月14日	本部PT② 自律改革取組事項の決定
9月30日	本部PT③ 取組状況の経過報告・共有
10月24日	新たな自律改革の検討開始
11月14日	本部PT④ 新たな自律改革の決定 取組状況の経過報告・共有
12月14日	本部PT⑤ 取組状況の経過報告・共有

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

多職種PTについて

【目的】

- 若手職員を中心に、関係機関からの派遣職員等も交えて自律改革案を検討
- 検討結果については、幹部と意見交換を行い、本部PTや各課PTと連携しながら改革を推進

【構成員】

10名（若手事務職、派遣職員等（警視庁、入国管理局、教員））

これまでの経過及び今後の取組

時期	内容
28年9月	ブレインストーミングによって問題点等を洗い出し
10月	3チーム（都民ファースト・ワイズスペンディング・情報公開）に分かれて課題・改善策を検討
11月	3チーム合同で取組内容の精査
12月	本部PTへの報告・提案
29年1月～	PTによる自律改革の取組を順次実施



<多職種PTにおける議論の様子>

【本部PTへの提案内容】

- ・HPに「1分でわかる施策紹介」を掲載
- ・スタンディングミーティングの実施 など

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

「大東京防犯ネットワーク」の利活用者の拡大

取組の背景・目的

防犯団体活動支援サイト

- 「大東京防犯ネットワーク」をリニューアル(本年10月)
いかに多くの人に利用してもらい、地域の防犯活動に役立ててもらおうかが課題

取組の概要

○防犯ワークショップの開催(11月)

参加者:70名程度

(防犯団体、学生、研究者、データ活用に精通した技術者等)

【内容】

- ・民間事業者等によるオープンデータの活用講演
- ・オープンデータを活用したグループワーク・発表・表彰

○リニューアル内容等に係る記者への説明

○区市町村や防犯ボランティア団体への活用の呼びかけ

サイトのリニューアル内容

- ①全国に先駆けWeb-GIS(地理情報システム)を導入し、地域の犯罪・防犯情報などをマップ化
- ②都内の町丁字別犯罪情報等をオープンデータ化 等



<当日の防犯ワークショップの様子>

サイトリニューアルやワークショップ開催を各種メディアに取り上げられ、
月間アクセス数約8倍(月間アクセス数 約15,000件 → 約120,000件)

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

ホームページにおける情報提供の充実

イベントカレンダーの作成

- 本部における都民参加型のイベント等をカレンダー形式でまとめ、本部のホームページに公開
- カレンダー内にあるイベント名等をクリックすることで内容の詳細を確認することが可能

シンポジウム等の講演内容の詳細を情報発信

- シンポジウム等の講演内容について、概略の公開だけにとどまらず、発言内容等の詳細を掲載
- 動画公開や速記記録を行うなど、可能な限り全内容を掲載

青少年・治安対策本部 イベントカレンダー (12月)

12月は外国人適正雇用推進月間です!

日	月	火	水	木	金	土
11月27日	28日	29日	30日	12月1日	2日	3日
TOKYO交通安全キャンペーン ミックオフイベント				TOKYO交通安全キャンペーン		
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
TOKYO交通安全キャンペーン				(申込は2/4まで) 着せかえファッションショー 街頭キャンペーン【新橋駅前広場】		
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	特殊詐欺根絶イベントin立川	外国人適正雇用街頭キャンペーン【新橋駅前広場】		着せかえファッションショー 街頭キャンペーン【蒲田駅前広場】	外国人適正雇用街頭キャンペーン【蒲田駅前広場】	
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
		着せかえファッションショー 街頭キャンペーン【武蔵野駅1階】		着せかえファッションショー 街頭キャンペーン【新宿区】		
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日

<青少年・治安対策本部イベントカレンダー>

なぜ、落語家がこのようなシンポジウムの場でお話をするのか、法律、犯罪と落語がどう関わっているのか、ということから話をしたい。

落語とは、スタートはお寺である。お寺で話を聞く機会を、法話とか説法とかいうが、要はお説教のことである。それを面白く子どもにも頭にすり込んでもらえるよう、おもしろいお説法にしたのが、実は落語なのである。

落語は一つひとつちゃんと教え、教訓、戒めが入っている。そんな訳で、犯罪を犯した少年、青年、大人たちに話を聞かせに行くというのは、説法を聞かせにいらっている



<シンポジウムにおける発言詳細をHP掲載>

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

各事業が連携した都民ニーズの把握と情報発信

あらゆるイベントで都民ニーズを把握

○複数の事業分野にまたがるアンケート項目を作成

- ・各事業のイベント等で共通使用
→より多くの都民ニーズの把握が可能

都民への情報発信

○Twitterの改善

- ・事業担当ごとに内容を工夫してツイート
(これまでは広報担当者がプレス発表内容を中心にツイート)
→より詳細な事業内容の発信ができ、発信頻度も向上

○イベント等において他の事業のポスター等を掲示

- ・イベント参加者に当本部の複数の事業をPR



東京都青少年・治安対策本部 @tocho_aochi - 12月13日
「防犯情報マップ 操作マニュアル」をHPに掲載しております。パソコンを苦手を感じている、「なんだかマップを使うのは難しそうだなー」と思っている方も、是非マニュアルを参照し、防犯情報マップをご覧ください。 bouhan.metro.tokyo.jp/index.html

東京都青少年・治安対策本部 @tocho_aochi - 12月8日
【申込日まで！】妊娠期の母親や父親、育児中の保護者等を対象に「親子の絆コンサート2016」を開催します！ご来場いただいた皆様にお配りするノベルティバックが完成しました！まだまだ皆さんからのご応募をお待ちしております！ metro.tokyo.jp/tosei/hodohapp..

東京都青少年・治安対策本部 @tocho_aochi - 12月9日
12/2に自転車の交通ルールやヘルメットの重要性を「さくら学院」と学べる「公開授業（3限目）」を公開しました！テーマは、「ヘルメット着用をみんなにPR」で、ファンの方へのPRもあります。残りは4限目のみです。みなさま是非ご覧ください

< 青少年・治安対策本部Twitter
アカウント名: @tocho_aochi >

青少年・治安対策本部における自律改革の取組<状況報告>

その他の取組事項

取組事項	検討の方向性	これまでの取組	今後の取組
安全・安心まちづくり協議会の内容の充実	テーマを設定した講演の実施やフリーディスカッションの場を設定するなど、協議会内容の充実を検討	来年度上半期の会議開催に向け、プログラム内容の検討や講演者をリストアップ	会議のプログラムを決定し、年度内に講演者の調整
速記委託契約の集約化	事業ごとに行なっている重要会議等に係る速記委託を一括契約	速記委託が必要な事業のリストアップ	年度内に速記委託事業を選定し、来年4月に一括契約

など



今後多職種PTなどの意見を吸い上げ、積極的に自律改革を推進